

現代社会

学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 3年2組
平成28年11月16日(水) 第5校時 3年2組教室

目標	<p>○日本の労働者の権利についての理解を深めることを通して、労働環境の変化が生産性の向上やワーク・ライフ・バランスを重視していることがわかる。【知識・理解】</p> <p>○日本の政策の中の「働き方改革」について、最低賃金の考察を通して、働き方改革の意義を考察できる。【思考・判断・表現】</p>	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
【導入】		
<p>1 日本の政策「一億総活躍プラン」を考察する。(10分)</p> <p>2 本時のねらいを確認する。</p>	<p>・プリントを配布し、共通点の考察を促す。</p>	
<p>最低賃金1000円を実現するためには、どうすればいいのか？</p>		
<p>【展開1】</p> <p>3 労働者の権利についての理解を深め、日本の労働環境の変化について要因を考える。(20分) (既習事項もあるため、内容は適宜確認しながら進める。)</p>	<p>・パワーポイントを使用して、スクリーンにノートスライドを映し出す。</p> <p>・プリントに記入しながら、日本の労働者の権利保障について理解を深める。</p>	<p>【知識・理解】</p> <p>A: ノートに必要事項が記入でき、自分の理解を促すようにまとめられている。</p> <p>B: ノートに必要事項が記入できている。</p> <p>C: ノートに必要事項が記入できていない。</p>
<p>【展開2】</p> <p>4 最低賃金1000円を実現するための方法を考察する。(15分)</p> <div data-bbox="220 1599 472 1684" style="border: 2px solid green; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>深い学び</p> </div>	<p>・需給曲線を利用して、労働市場の理解を深めるように、変化を考察する。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>A: 友人と共に考察を深め、自分の言葉で説明ができる。</p> <p>B: 友人と共に考察し、その結果を説明できる。</p> <p>C: 友人の考察を聞き、その結果をまとめることができる。</p>
【まとめ】		
<p>5 日本の政策「一億総活躍プラン」について、考察をまとめる。(5分)</p>	<p>・一億総活躍プランでは、労働生産性を高める工夫を支援しようとしていることをまとめる。</p>	<p>[Cの生徒の手立て]</p> <p>プリントに記述させておき、その添削をすることにより、理解を促す。</p>

政治経済

学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科	3年1組
平成28年11月16日(水) 第2校時	第1社会教室
教科・科目：政治経済	単元名：自由貿易と国際分業

本 時 案		
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
目 標 ○自由貿易のメリット・デメリットについて複数の資料を活用して調べることができる。(資料活用の技能) ○主題「日本は自由貿易を推進すべきか」について、根拠をもって自分の意見を述べるができる。(思考・判断・表現)		
【導入】 ○前時の復習 ○本時の課題を知る	○貿易には自由貿易と保護貿易の考え方があることを復習させる。 ○主題「日本は自由貿易を推進すべきか」を提示し、本時の学習活動の見通しをスクリーンに示す。	ICT
【展開1】 ○自由貿易のメリット・デメリットを知る NIE	○資料を用いて自由貿易のメリット・デメリットを把握させる。 ・生徒を「自由貿易推進派(=自由貿易のメリットを調べる)」「自由貿易否定派(=自由貿易のデメリットを調べる)」の2つの立場に割り振り、資料集や新聞記事のなかからメリット/デメリットを調べ、ワークシートに記入させる。 ・異なる立場からの反論とそれへの切り返しも考えさせることで、多角的な視点を身につけさせる。	○資料を活用して自由貿易のメリット・デメリットについて調べることができる。(資料活用の技能=ワークシートの記入による)
【展開2】 ○ミニディベート「日本は自由貿易を推進すべきか」 ○メリット・デメリットの整理 深い学び	○割り当てられた立場で、ミニディベートを行わせる。 ・相手の主張の要旨はメモをとらせる。 ○ミニディベートの中で双方が主張したことをもとに、自由貿易のメリット・デメリットを整理させる。 ・ミニディベート時にとったメモを活用させる。	
【終結】 ○自分の意見を述べる ○活動の振り返り	○メリット・デメリットをふまえて、「日本は自由貿易を推進すべきか」に対する自分の意見を記述させる。 ○1つのテーマについて、多角的な視点で情報を集めて自分なりの考えをもつことが、選挙で投票先を決める先にも重要であることに気づかせる。	○「日本は自由貿易を推進すべきか」について、根拠をもって自分の意見を述べるができる。(思考・判断・表現=ワークシートの記入による) 主権者教育

※日頃の授業では、黒板に向かって左側の生徒を「レフトさん」、右側の生徒を「ライトさん」と便宜上名付け、ペアワークをしています。本時も、その呼称を用いて指示をすることがあります。

物理

学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科	3年9組 (40名)
平成28年11月16日(水) 第3校時	第1物理教室
教科・科目: 理系物理	単元名: 放射性崩壊

本 時 案

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 放射線の影響と利用について理解を深めることができる。(興味・関心) 放射線の計測を通して、放射線の影響を小さくすることを考えることができる。(思考・判断・表現力) 	
学 習 内 容	指 導 ・ 支 援 上 の 配 慮 事 項 な ど	評 価 規 準 ・ 方 法 な ど
1 前時の復習をする。	○ α 崩壊、 β 崩壊について、ペアで説明させる。	
2 (1) 本時の目標を確認する。	○本時の目標を掲示する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時の目標：放射線の影響と利用について理解を深めることができる。 放射線の計測を通して、放射線の影響を小さくすることを考えることができる。</p> </div>		
<p>(2) 放射線が人体に与える影響、利用されている例を、グループ内で紹介し合う。</p> <p>(3) 説明を聞いて、特に興味をもったことについてプリントに追記(まとめ)する。</p> <p>(4) 「はかるくん」を用いて、放射性物質から放射線が出ていることを確認する。</p> <p>(5) 放射線の影響(被曝)を小さくすることを確認する実験方法を、グループで2つ考える。</p> <p>(6) 「はかるくん」を用いて計測を行う。</p> <p>(7) 校内で放射線が強く出る場所を探る。グループ内で分担して調べる。</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>深い学び</p> </div>	<p>○事前学習(課題)として「放射線が人体に与える影響を調べてみよう」、「放射線が利用されている例を調べてみよう」を前時に指示した。</p> <p>○測定試料として、船底塗料、塩、湯の花、カリ肥料を用いる。</p> <p>○放射線の影響(被曝)を小さくすることを確認する実験方法を、机上にある道具を用いて考えさせる。(探究的な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射性物質から離れる。 鉛で照射を遮る。 <p>○必要に応じて、データをグラフ化するよう指示する。</p> <p>○校内の数力所を示す。(探究的な活動)</p>	<p>○放射線の影響と利用について説明できる。(興味・関心)</p> <p><評価基準> 机間指導による観察</p> <p>○放射線の影響を小さくすることを考えることができる。(思考・判断・表現力)</p> <p><評価基準> 机間指導による観察、ワークシート</p>
3 (1) 本時を振り返る。	本時で学んだ内容について振り返り、まとめさせる。生徒発表も取り入れる。	
(2) 最後に、「授業振り返りシート」を記入する。		

美術 I

芸術科・美術 I 学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 1年2組 17名

平成28年11月16日(水) 第6校時 美術教室

本時案 (第3次の第1時)

目標	<p>・「桃太郎絵巻」の特徴や様式、主題や表現方法について理解を深めるとともに、それらを異文化圏の人々に効果的に発信しようとする活動を通して、自国のみならず諸外国の美術文化を理解することの重要性に気づく。(鑑賞の能力)</p>	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
<p>1 本時の学習内容を聞く。</p> <p>2 グループ毎にプレゼンテーションを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>○物語解説班 ○絵巻物文化解説班 ○桃太郎と岡山解説班</p> </div> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>深い学び</p> </div> <p>3 本時のまとめと次時の予告を聞く。</p>	<p>○本時の学習はすべて英語で行われることを知らせる。 英語による「桃太郎絵巻」の解説に挑戦しよう。</p> <p>○自分の発表だけでなく他のグループの発表もよく聞いて、相互評価することを知らせる。 ・相互評価表を配布する。</p> <p>○発表の順番を確認する。 ○グループごとに発表させる。</p> <p>①物語解説班にプレゼンをさせ、相互評価表に記入させる。 ・桃太郎の物語の解説と、そのストーリーがどのようなメッセージを含んでいるのかということについて自分たちの考えを踏まえてプレゼンを行う。</p> <p>②絵巻物文化解説班にプレゼンをさせ、相互評価表に記入させる。 ・日本独自の絵巻物文化の特色などを異文化の人にも分かりやすく説明する。また絵巻の鑑賞の仕方について説明する。 ・相互評価表に記入する。</p> <p>③桃太郎と岡山解説班にプレゼンをさせ、相互評価表に記入させる。 ・桃太郎が現在の岡山とどのように関わっているのかを検証させ、美術文化の大切さが伝わるようプレゼンを行う。 ・相互評価表に記入する。</p> <p>*大学の先生による感想は適宜聞かせる。</p> <p>○相互評価表の記入を確認させる。 ○本時の感想を書かせる。(相互評価表に書く欄を設定)</p> <p>○大学の先生の話聞く。</p> <p>○本時のまとめを聞く。</p> <p>○次時の予定を聞く。</p>	<p><鑑賞の能力></p> <p>○ 相互評価表を活用する。 (評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の特質や様式についてよく調べているか。 ・質問に対してきちんとした論拠で説明できているか。 ・わかりやすい説明を心掛けているか。 <p>○ 以上の項目について 5段階で評価する。またその他、気づいたこと感じたことなどを文章で記入する。</p>
<p>準備物など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターテレビ ・ ハンズオン教材「桃太郎絵巻」 ・ 生徒のポスター作品 ・ パソコンおよび付属ケーブル類等 ・ プロジェクターとスクリーン ・ 相互評価表 	